

NGO・外務省定期協議会 ODA政策協議会ふりかえり

(2008 年度 (平成 20 年度) NGO・外務省定期協議会 全体会議 (2008/6/6))

ODA 政策協議会 NGO 側コーディネーター
加藤 良太 (関西 NGO 協議会)

1. ODA政策協議会設置の経緯

- ・ 2002 年 3 月の定期協議会において、全体会議、ODA 政策に関する会議、NGO・外務省間の連携策に関する会議の 3 協議体を設置することで双方合意。
- ・ 2002 年度中、全体会議を除く 2 協議体が「小委員会」名称で定期協議を継続しつつ、名称、各協議体のマニフェストを確認する。ODA 政策に関する会議は、2002 年 12 月 5 日に「平成 14 年度 ODA 政策協議のための小委員会」名称で開催され、そこでの合意をもとに実施要項を作成、2003 年度より「ODA 政策協議会」として発足。
- ・ (1) オープンな場であること、(2) 実効性のある議論、学習を通じて ODA 政策によりよい影響を与えていくこと、その双方を目指すことが確認されている。

2. 議題、会議のあり方について

- ・ 2007 年度議題については、別添資料を参照のこと。
- ・ 取り扱われた議題は総合・包括的なものから個別具体的なものまで、多岐にわたるが、全体として、ODA のあり方はどうあるべきかという政策レベルの議論へつなげる流れ、努力が払われてきたのではないか。

3. 今後を考える上でのポイント

- ・ 「誰もが参加し、発言できる」オープンさ。
- ・ 十分な知見と情報提供に基づく「熟議」とその継続性。
- ・ 上記 2 つの両立を可能にする、NGO・外務省双方の努力、工夫、協力。

そのためには・・・

- ・ ODA 政策協議会の使命・目標を不断に確認、議論しつつ進めていく。
- ・ 必要に応じて特定テーマを深めるワーキンググループを設けてはどうか。
- ・ これまでの ODA 政策協議会の歩みや成果について「なんとなくできた、できなかった」ではなく、客観的かつ第三者的な視点からの振り返りが必要ではないか。

以 上